

学んだ知識と看護倫理を基礎に、衣笠病院看護部の理念に沿った看護師として  
成長するために、看護実践能力を形成し強化する。

2017/4/1

月	目標	指導上の留意点	部署の教育	中央・看護部での教育	可能な業務
4月	衣笠病院グループの文化にふれ、 3日 衣笠病院グループ職員として 自覚が持てるようになる  4日 職員としての心構えと基本的態度 の習得ができる  5日 業務を行っていく上で必要な 知識を得ることができる  6日 職場環境になれる 電子カルテの基本操作方法が 理解できる  7日 日常業務の流れを理解する 8日 9日 10日 電子カルテ・PDA操作ができ、 入力ができる (看護記録・バイタル記録・ 実施入力など)  ・安全管理指針を理解できる  ・電子カルテで必要な情報が 収集できる ・実施した内容の記録ができる ・診療報酬に適合記録方法を 理解し、記録ができる	緊張感が緩和するように 声掛けをする  職場風土について部署内で 統一できるよう再確認する  声掛けをし、緊張感を緩和 させる  体調を崩さない配慮をする 連絡ノートなどプリセプターとの 積極的な交流を図る  負担のかからない業務見学と 説明を中心に行う 看護手順に沿った説明 スタッフ間で統一指導できる ようにする  プリセプティシート1ヶ月使用  記録指針に沿った記録が 出来るように指導	病棟オリエンテーション 部署の一日の流れの説明 職員紹介、チーム紹介 (名前と顔が一致する)  部署の特殊性の説明 可能な業務の説明 初回は見学 2回目は指導者と共に実施 物品の位置と用途の説明  業務、ケアの実施 看護記録、患者基本情報 看護計画、看護介入説明 ワークシートの説明 廃棄物の取扱い 1日の業務の説明 所属部署のスケジュールに従い SMBG説明・実施 心電図電極装着見学・実施	入職者オリエンテーション 法人内施設見学 病院理念・看護部方針 看護師の倫理綱領 個人情報管理・労働安全 医療安全・感染管理 電子カルテシステムセキュリティ 接遇・コミュニケーション チーム医療(褥瘡・NST・緩和) 看護技術(移動・移送・ ・体位変換・酸素療法・吸引) 職務・病棟管理・看護部教育計画 看護協会・服装規定 検体取り扱い・注意事項 放射線科より画像について  糖尿病の基礎知識 電子カルテの演習 KYT、安全確認の技術 高齢者認知症 退院支援 看護必要度 看護倫理	<病棟勤務開始> 標準予防策対応 バイタルサイン状態観察 清潔援助。洗髪・排泄介助 食事介助 移送、2名での搬送 体位変換 歩行介助 申し送り聴取 ベットメイキング・環境整備 身体計測・電法 湿布・軟膏処置介助 検体搬送 吸引・酸素療法 検査・手術室への入室 外来受診から入院まで 膀胱カテーテル管理 経管栄養の準備・観察 物品片付け SMBG エンゼルケア見学・介助
5月	・入院時の患者の対応ができる ・入院中の患者の対応ができる  ・患者の変化に気づき、 メンバーとして報告、相談できる  ・日常生活援助の技術。態度を 身に付け基本的なベッドサイド ケアが安全にできる ・指示確認方法を理解し、 カルテからの指示確認ができる ・必要な知識について自ら 学習することができる ・夜勤業務を知る事で患者の 24時間を把握することができる  ・技術研修で学んだことを実践で いかすことができる ・必要な看護をチームで共有 できるためのコミュニケー ションがとれる ・避難訓練に参加できる	新人の状況を見ながら (緊張感や行動レベルなど) 割り当てる業務を徐々に増や していく  新人が悩みを話し易い環境 作りをし、声掛けをする 技術チェックリスト使用 2回チェック後一人で実施  連絡ノートを活用する (新人と指導者、スタッフ間) 学習方法について助言する 夜勤はシャドーイングで行う 見習いとして入る 睡眠状態、体調を観察する  ・病棟の避難経路の確認	勤務内受け持ち患者の人数を複数名とする <国家資格のはがき到着後実施> 経管栄養 創傷処置見学・実施 無菌操作の見学・実施 経口薬の与薬 外用薬の与薬 直腸内与薬 インスリン説明・実施 検体検査の説明・実施 ハイリスク薬品の管理説明 向精神薬の管理説明 麻薬の管理説明 夜間の患者のケア 排便、導尿 皮下注射の見学・実施 筋肉注射の見学・実施 注射業務の確認説明  急変時、必要物品の位置説明	薬剤管理 (ハイリスク薬品・麻薬含む)  メンタルヘルス 県新人わくキラ研修  夜勤オリエンテーション (夜勤2回) 看護協会(がんばれ新人Ns) 看護協会研修 1日  点滴静脈注射 ME機器・手洗い 救急蘇生 災害看護 避難訓練への参加	国家資格のはがき到着後 経管栄養注入 ダブルチェックの確認者  経口薬の与薬 外用薬の与薬 直腸内与薬 ネブライザー実施  重症患者寝衣交換 点滴セットアップ、 意識レベル把握 創傷管理 無菌操作・検体の取扱い 2名での夜間のケア 夜間の環境調整 部屋持ち指示受け 採血 PDA認証(注射) 注射の実施
6月	・夜勤業務を安全に開始する事 ができる。 ・指導のもとインシデントレポート が書ける	焦らせず見守る態度で指導 していく 事故防止に着目した指導 夜勤業務の流れを習得できる よう指導。チェックリストを元に 実施内容評価	女性の膀胱留置カテーテル挿入管理  各科特有の処置検査の説明見学	医療安全研修 褥瘡研修	点滴管理 (輸液ポンプ・シリンジポンプ) 導尿 女性の膀胱 カテーテル留置
7月	・患者の変化に気づき メンバーとして報告・連絡・ 相談をして対応することが 出来る  ・物品管理ができる (費用対効果を考慮できる)	個々を比較しない 進度に応じた説明を行う 自己目標の確認 (チェックリストを元に) 受け持ち患者の評価が出来る ように指導する 病棟の物品管理について説明	輸血の説明  重症患者の受け持ち	衣笠病院の倫理観を知る 倫理研修 月 日  輸血の対応 死亡時の対応	ハイリスク薬品の施行 向精神薬の施行 麻薬の副作用の観察 輸血の準備・輸血中の観察 輸血の2名での実施 急変時の観察、記録 エンゼルケア実施
9月		チェックリストにて実施内容評価		県新人わくキラ研修	気道の確保人工呼吸
10月		未経験の技術を確認する		多重課題 感染研修	気管挿管介助
11月		カンファレンスでの発言を促す	倫理研修	県新人わくキラ研修	心マッサージ
1月		退院指導が出来るよう指導			
2月		チェックリストの実施内容確認			
3月	・助言を受けながら、チームメンバー として行動することができる ・ケーススタディーをまとめる ことによって自己の看護観を 考えることができる	チームの一員として尊重する。患者の身体的・心理的・社会的 側面から把握し、ケーススタディーがまとめることができるよう に指導する		3月 日発表会	